

# 令和5(2023)年度 事業報告

2023年4月 1日から

2024年3月31日まで

一般社団法人 日韓経済協会

## 目 次

I. 総会	-----	1
II. 理事会	-----	2
III. 諮問委員会	-----	4
IV. 日韓経済人会議	-----	5
V. 日韓新産業貿易会議	-----	8
VI. 青少年交流事業	-----	10
VII. 調査・広報活動	-----	15
VIII. その他事業及び出来事等	-----	17
IX. 会員異動	-----	19

# I. 総 会

## A. 第 1 1 回定時社員総会

第 1 1 回定時社員総会は 2 0 2 3 年 6 月 3 0 日、東京都千代田区大手町 1 - 3 - 2 経団連会館 5 階パールルームで開催された。定款規定により佐々木幹夫会長を議長に選出した後、下記議案を審議の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

1. 日 時 2 0 2 3 年 6 月 3 0 日 (金)  
開 会 午後 3 時 0 0 分  
閉 会 午後 3 時 3 5 分
2. 場 所 東京都千代田区大手町 1 - 3 - 2  
経団連会館 5 階 パールルーム
3. 正 会 員 総 数 6 1 名
4. 出 席 正 会 員 数 5 0 名  
(内 訳)  
正会員出席者 1 3 名  
委 任 状 3 7 名
5. 議 事  
決議事項  
第 1 号議案 令和 4 年度事業報告承認の件  
第 2 号議案 令和 4 年度収支決算報告承認の件  
第 3 号議案 公益目的支出計画実施報告承認の件  
第 4 号議案 令和 5 年度事業計画及び収支予算承認の件  
第 5 号議案 任期満了に伴う理事及び監事選任承認の件
6. 報 告 事 項  
(1) 任期満了に伴う諮問委員会副会長及び理事委嘱の件  
(2) 任期満了に伴う顧問委嘱の件  
(3) 任期満了に伴う相談役委嘱の件

## Ⅱ. 理 事 会

### A. 令和5年度第1回理事会

1. 日 時 2023年6月13日（火）

2. 議 案

第1号議案 第11回定時社員総会開催の件

第2号議案 第11回定時社員総会付議事項承認の件

(1) 令和4(2022)年度事業報告(案)

(2) 令和4(2022)年度収支決算報告(案)

(3) 公益目的支出計画実施報告(案)

(4) 令和5(2023)年度事業計画及び収支予算

(5) 任期満了に伴う理事及び監事選任の件

第3号議案 任期満了に伴う諮問委員会副会長及び理事推薦承認の件

第4号議案 任期満了に伴う顧問推薦承認の件

第5号議案 任期満了に伴う相談役推薦承認の件

### B. 令和5年度第2回理事会

1. 日 時 2023年6月30日（金）

2. 議 案

第1号議案 会長、副会長、専務理事及び常務理事選定の件

第2号議案 事務局長委嘱の件

### C. 令和5年度第3回理事会

1. 日 時 2023年8月21日（月） 書面表決

2. 議 案

第1号議案 主たる事務所移転の件

**D. 令和5年度第4回理事会**

1. 日 時 2023年11月20日(月) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 諮問委員会理事推薦承認の件

報告事項 公益目的支出実施完了の件

**E. 令和5年度第5回理事会**

1. 日 時 2024年3月27日(水) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 2024年度事業計画(案)の件

第2号議案 2024年度収支予算(案)の件

### Ⅲ. 諮問委員会

#### 第10回 諮問委員会

- |          |   |
|----------|---|
| 1. 日 時   | 2024年2月21日 (木)<br>17:00～19:00   |
| 2. 場 所   | 三菱クラブ   |
| 3. 出 席 者 | 諮問委員会理事会社 4社  |
| 4. 議 題   | 協会及び財団の活動報告<br>(1) 日韓新産業貿易会議・日韓経済人会議<br>(2) 青少年交流<br>(3) 日韓交流おまつり2023 in Tokyo<br>(4) インターンシッププログラム・次世代経営者交流<br>(5) 中小企業ビジネス促進事業<br>(6) その他 (直近の状況など) |

## IV. 日韓経済人会議

1969年に開催して以降1度も中断することなく日韓交互に開催を続け、本年度は第55回を迎えた。その間には幾多の困難があったものの、ここまで続けることができたのは、両国経済人の熱意によるものといえる。近年はコロナ禍によってオンライン開催が続いていたが、4年ぶりに日韓の経済人が一堂に会することができ、会場は再会を喜ぶ声で溢れた。

韓国を訪問した日本側団長団は、会議前日の15日（月）に尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領を訪ね表敬した。佐々木会長は「日韓関係の改善に向けた尹大統領の英断に敬意を表したい」と挨拶し、尹大統領は厳しい環境においても民間交流を続けてきたことへの感謝と、今後の日韓企業の協業に対する期待を述べた。他にも、朴振（パク・チン）外交部長官、産業通商資源部の安徳根（アン・ドクン）通商交渉本部長にも面談をいただいた。



（尹錫悦大統領との面談）

今回はテーマを『激動するビジネス環境、新しい未来をともに創造』と掲げた。基調講演に登壇いただいた齋木氏が「国際情勢・地域情勢が動揺する中において日韓関係の強化は急務。また次の世代を背負う若い世代への投資が重要」と述べたほか、オープンイノベーション、グリーン事業の実例、地域間交流などの発表があり、和やかな雰囲気の中にも真摯で具体的な議論・意見交換とすることができた。ご協力をいただいた関係各位に厚く感謝申し上げる。



（開会挨拶をする佐々木会長）



（来賓を交えた記念撮影）

## 第 55 回 日韓経済人会議

テーマ：「激動するビジネス環境、新しい未来をともに創造」

日時：2023年5月16日(火)～17日(水)

会場：ロッテホテル 2F クリスタルボールルーム I+II

日付	プログラム
5月16日 (火)	<p>&lt;開会式&gt;</p> <p>◆オリエンテーション</p> <p>◆記念撮影</p> <p>◆団長挨拶 韓国側 金銃(キム・ユン) 韓日経済協会 会長 日本側 佐々木 幹夫 日韓経済協会 会長</p> <p>◆来賓挨拶 韓国側 安德根(アン・ドクン) 通商交渉本部長 日本側 相星 孝一 駐韓日本国特命全権大使</p> <p>&lt;基調講演&gt; 韓国側 孫京植(ソン・ギョンシク) 韓国経営者総協会会長 日本側 齋木 昭隆 元外務事務次官</p> <p>&lt;日韓新産業貿易会議の報告・提言&gt;</p> <p>韓国側 鄭晩基(チョン・マンギ) 韓国貿易協会副会長 日本側 麻生 泰 麻生セメント(株)会長・日韓経済協会副会長</p> <p>&lt;レセプション&gt;</p>
5月17日 (水)	<p>&lt;第1セッション&gt;</p> <p>コーディネーター：廉載鎬(ヨム・ジェホ) 高麗大学校 名誉教授</p> <p>テーマ：「韓日経済連携の拡大」</p> <p>韓国① 金天柱(キム・チョンジュ) 韓国国際規格認証院 「相互信頼に基づいた経済協力(Win-Win戦略)」</p> <p>日本① 河田 美緒 日本貿易振興機構 理事 「日韓エコシステムの交流に向けて」</p> <p>韓国② 朴正圭(パク・ジョンギョ) 漢陽大学 兼任教授 「未来自動車と半導体分野における日韓協力の方策 ー産業パラダイムの変化への対応ー」</p> <p>日本② 黒石 邦典 丸紅株式会社 顧問 「未来に向けて、日韓経済協力の強化 ～丸紅のグリーン事業のご紹介～」</p> <p>&lt;第2セッション&gt;</p> <p>コーディネーター：出石 直 日本放送協会 解説主幹</p> <p>テーマ：「日韓相互交流の増進」</p> <p>韓国① 朴相俊(パク・サンジュン) 早稲田大学 教授 「日韓企業の協力の方向」</p> <p>日本① 松村 昭宏 静岡県地域外交担当部長 「静岡県の地域外交ー地域だからできることー」</p> <p>韓国② 李亨五(イ・ヒョンオ) 淑明女子大学 教授 「日韓協力事業の変化の過程と今後の方向 ー韓日産業技術協力財団30年史を中心にー」</p> <p>日本② 井口 和容 ソウルジャパンプラブ 理事長 「日韓相互交流の更なる促進にむけて」</p> <p>&lt;閉会式&gt;</p> <p>◆団長挨拶</p> <p>◆共同声明採択</p> <p>&lt;共同記者会見&gt;</p>



# 第 55 回 日韓経済人会議

THE 55<sup>th</sup>. JAPAN - KOREA BUSINESS CONFERENCE

----- 2023.5.16~17 SEOUL, KOREA -----

## 共同声明

「激動するビジネス環境、新たな未来を共に創造」

第 55 回日韓経済人会議を、2023 年 5 月 16～17 日の両日にわたって大韓民国ソウル特別市において開催し、日本側は佐々木幹夫団長ほか 75 名、韓国側は金鉦（キム・ユン）団長ほか 164 名が参加した。1969 年に第 1 回を開催して以降、幾多の困難に見舞われながらも一度も中断することなく開催を続けてきた。記念すべき第 55 回を迎える今年、コロナ禍を乗り越え 4 年ぶりに対面での会議とすることができ、参加した両国経済人は互いに再会を喜んだ。

去る 3 月に 2 国間訪問としては 12 年ぶりとなる日韓首脳会談が開催された。政府間の対話が進み、シャトル外交の再開とともに緊密な意思疎通が行われていることを、日韓の経済人は感謝し、大いに歓迎する。地政学的リスクが高まるなか、重要な隣国同士である日韓の連携・協力がかつてなく重要となっている。

今回の第 55 回日韓経済人会議では、「激動するビジネス環境、新たな未来を共に創造」をテーマに、日韓新産業貿易会議における「未来を見据えた両国関係の維持・発展」に向け「経済人自らが動き動かす」との提言を踏まえ、忌憚なく意見を交わし以下のように合意した。

- 記 -

### 1. 経済連携の拡大

日韓関係の改善に向けた動きが確実なものとなり、相互の人的往来も活発になってきた。長らく望んでいた安心して自由な経済活動ができる環境が整いつつあることを大いに歓迎する。

日韓の経済人は、その連携・協力によって生み出すことができるメリット、シナジーをあらためて確認し、第 3 国における共同プロジェクト、デジタル・グリーンなど新産業分野などにおいて積極的に協力する。

日韓・韓日経済協会・財団は、経済協力のネットワークがより強靱となるよう取り組み協業拡大に貢献する。

### 2. 相互交流の促進

改善が進む日韓関係を支え一層発展させていくため、日韓の経済人は、経済はもとより、人材、文化、地域間など幅広い交流を通じて信頼を一層積み重ね、パートナーシップがより緊密なものとなるよう取り組む。

### 3. 万国博覧会の成功に向けた協力

2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に協力し、2030 年国際博覧会（万博）の韓国・釜山での開催実現に向けて協力する。

なお、次の第 56 回日韓経済人会議は、2024 年に日本で開催する。

2023 年 5 月 17 日

日本側代表団団長 佐々木幹夫  
韓国側代表団団長 金 鉦

## V. 日韓新産業貿易会議

この会議は、日韓経済人会議に先立って開催する専門会議として、時宜にあわせたテーマ、共通課題などについて事前に討議を進め議論を深める目的で、毎年、日韓交互に開催している。コロナ禍においてオンライン開催が続いたともあって、東京で一堂に会するのは実に6年であったが、前日のレセプションでは再び会えた喜びにあふれ、あらためて友情を確認しあう場面が見られた。



今回は『未来へと続く日韓のパートナーシップ』をテーマに掲げた。昨年（2023年）日韓共同宣言から25年を迎え、来年（2025年）は日韓国交正常化60周年という節目に当たり、未来に向け新たな発信と行動のスタートしようとの思いを込めた。

第1セッションでは『経済連携・協力の拡大』をテーマに、第2セッションでは「幅広い多様な交流の実現」に関し発表と意見交換がなされ、会議の総括として日本側の麻生チェアマンは、「尹大統領がギアチェンジしたこのタイミングを逃すことなく動き出そう」と締めくくった。

会議の結果は、第56回日韓経済人会議（5月 東京・オークラ東京）での議論につなげられた。



## 第24回 日韓新産業貿易会議

会場：The Okura Tokyo プレスレジタワー

テーマ：『未来へと続く日韓のパートナーシップ』

時 間	内 容
09:30～10:05	<p><b>開会式</b></p> <p>日本側チェアマン：麻生 泰 日韓経済協会 副会長            韓国側チェアマン：李 仁浩 (イ・インホ)            韓国貿易協会 常勤副会長</p> <p>日本側コーディネーター：岩垂 好彦 桜美林大学 准教授            韓国側コーディネーター：李 洙喆 (イ・スチョル)            (株)GHホールディングス会長</p> <p>(一社)日韓経済協会：内田 敏明 専務理事            (社)韓日経済協会：徐 錫崇 (ソ・ソクスン) 常勤副会長</p>
10:05～11:30	<p><b>セッション(I) テーマ：「経済連携・協力の拡大」</b></p> <p>日本側 発表：相馬 弘尚 (独)中小企業基盤整備機構            業務統括役 兼 国際交流センター長            ▶テーマ「中小ベンチャー企業支援における日韓協力の可能性」</p> <p>韓国側 発表：朴 盛彬 (パク・ソンビン) 亜洲大学校            国際学部教授日本政策研究センター長            ▶テーマ「日韓の水素経済産業戦略及び協力方策」</p>
11:30～12:30	Lunch
12:30～14:00	<p><b>セッション(II) テーマ：「幅広い多様な交流の実現」</b></p> <p>日本側 発表：石井 順也 (株)博報堂            テーマビジネスデザイン局部長            ▶発表テーマ 「～幅広く多様な交流の実現に向けて～            広告会社の事例ご紹介」</p> <p>韓国側 発表：朴 相洙 (パク・サンス) 産業研究院            機械・防衛産業室 室長            ▶発表テーマ 「日韓の先端ロボット産業の現状、            戦略及び協方策 -人材交流の拡大を中心に-</p>
14:00～15:00	全体討議
15:00～15:30	<p><b>閉会式</b></p> <p>両国コーディネーター・チェアマンによる総括            両国事務局挨拶</p>

## VI. 青少年交流事業

### 1. 青少年交流事業の実施状況

#### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」実施状況

- ① 「未来志向の日韓関係」構築の基礎である人的交流の一環として、次世代を担う若者たちの草の根レベルの交流促進を目指し、2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始した。これまで19年間で26回開催、延べ2,350人を超える交流実績となり、着実に成果を重ねて協会会員および参加学校、開催地域の理解と協力が広がりつつある。

2020年～2022年の3年間は、新型コロナウイルス蔓延の影響により、合宿形式の高校生交流キャンプの開催を見送ったが、2023年は、「日韓青少年交流キャンプ-Reboot2023」として開催を再開した。

- ② 運営面では2006年度から2007年度までは、本事業の趣旨に賛同いただいた6社・団体の協賛金・助成金により運営し、2008年度から2011年度までは、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業(JENESYS: 2007年度から2011年度の5年間実施)」に登録され、(公財)日韓文化交流基金 委託事業の形態で資金を得て運営した。2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、これまで通り参加費無料で運営した。2013年度から2019年度までは、JENESYSの後継として実施された「JENESYS2.0」の一環として、毎年(公財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格し、その業務委託金と韓国産業通商資源部の支援金を合わせて運営、2015年度からは、業務委託金と支援金の他、参加者から10,000～30,000円の参加費を徴収して運営している。
- ③ 2019年度からは(一財)日韓産業技術協力財団の助成を得るスキームとし、事業継続のための財源安定化を図っている。

#### (2) 「日韓学生未来会議」実施状況

- ① 高校生交流キャンプ参加後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的に日韓両国でOB・OG会(JKSFF/KJSFF)を発足させ、2006年度から活動を始めた。日韓各々の団体が勉強会・討論会・交流会等の開催、高校生交流キャンプへの運営ボランティア参加、他機関が開催する交流行事への参加や情報交換等、毎年活発な活動を行っている。

- ② 両国のOB・OG会活動の最大の交流事業として、両国学生が毎年、日韓に関わるテーマを一つ決め、事前学習・発表・討論を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に開催している。2023年度は「産業分野で探す日韓交流プロジェクト」をテーマに、日本側から14名、韓国側から20名が参加し、福岡で開催した。当協会では、学生の自主性を尊重しつつも、安全かつ効果的に会議を実現するため、交流会の企画・運営に関して積極的に助言し、渡航・滞在等の支援を行っている。
- ③ 高校生交流キャンプと同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

## 2. 青少年交流事業の実施実績

### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第10回～第18回、第20回～第26回)
- ・主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- ・後援：外務省、国土交通省  
韓国産業通商資源部
- ・開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側参加者	韓国側	参加者計
第1回	日本・東京	2004年1月16日～20日	62人(4校)	50人	112人
第2回	日本・東京	2004年7月26日～30日	20人(10校)	52人	72人
第3回	韓国・ソウル	2004年8月18日～22日	46人(7校)	48人	94人
第4回	日本・東京	2005年2月11日～15日	64人(19校)	54人	118人
第5回	日本・東京	2005年8月6日～10日	44人(17校)	46人	90人
第6回	日本・東京	2006年2月9日～13日	59人(17校)	47人	106人
第7回	韓国・ソウル	2006年8月4日～8日	38人(16校)	49人	87人
第8回	日本・幕張	2007年2月9日～13日	42人(17校)	38人	80人
第9回	日本・東京	2007年8月5日～9日	34人(20校)	41人	75人
第10回	韓国・一山	2008年2月10日～14日	46人(17校)	39人	85人
第11回	日本・東京	2008年8月3日～7日	44人(25校)	44人	88人
第12回	韓国・ソウル	2009年2月1日～5日	50人(34校)	50人	100人

第13回	韓国・龍仁	2009年7月28日～8月1日	44人(31校)	44人	88人
第14回	日本・大阪	2010年2月2日～6日	39人(24校)	49人	88人
第15回	韓国・ソウル	2010年8月3日～8月7日	50人(40校)	49人	99人
第16回	韓国・ソウル	2011年2月8日～2月12日	50人(39校)	50人	100人
第17回	韓国・ソウル	2011年8月2日～6日	49人(44校)	47人	96人
第18回	日本・大阪	2012年1月31日～2月4日	50人(32校)	50人	100人
第19回	韓国・ソウル	2012年7月24日～28日	50人(40校)	50人	100人
第20回	日本・大阪	2013年7月28日～8月1日	50人(39校)	50人	100人
第21回	日本・川越	2014年7月27日～7月31日	50人(39校)	50人	100人
第22回	韓国・ソウル	2015年7月27日～7月31日	40人(34校)	40人	80人
第23回	日本・南三陸 &仙台	2016年7月29日～8月3日	40人(31校)	40人	80人
第24回	韓国・平昌	2017年7月24日～7月28日	40人(34校)	40人	80人
第25回	日本・広島	2018年7月29日～8月2日	40人(34校)	35人	75人
第26回	韓国・ソウル	2019年8月5日～8月9日	30人(30校)	30人	60人
延べ参加人数			1,171人	1,182人	2,353人

・日韓青少年交流キャンプ-Reboot2023

	場所	日程(交流期間)	日本側参加者	韓国側	参加者計
	韓国・ソウル	2023年8月1日～8月4日	15人	15人	30人

(2) 「日韓学生未来会議」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第3回～第6回及び第9回～第10回)、その他の回は自主開催
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・幕張	2007年2月9日～12日	14人	10人	24人
第2回	韓国・ソウル	2008年2月12日～16日	6人	15人	21人
第3回	日本・東京	2009年2月9日～13日	17人	16人	33人
第4回	韓国・釜山	2009年8月3日～7日	20人	20人	40人

第5回	日本・京都	2010年8月9日～13日	17人	20人	37人
第6回	韓国・ソウル	2011年8月8日～12日	17人	19人	36人
第7回	韓国・ソウル	2012年8月6日～10日	14人	14人	28人
第8回	日本・大阪	2013年8月6日～10日	14人	15人	29人
第9回	韓国・大田	2014年8月5日～9日	14人	14人	28人
第10回	韓国・ソウル	2015年8月6日～10日	12人	8人	20人
第11回	日本・福岡	2016年8月18日～22日	14人	14人	28人
第12回	韓国・龍仁	2017年8月7日～11日	21人	16人	37人
第13回	日本・長崎	2018年8月5日～10日	22人	20人	42人
第14回	韓国・釜山	2019年8月18日～23日	18人	16人	34人
第15回	オンライン	2021年2月19日～21日	14人	16人	30人
第16回	オンライン	2021年8月20日～22日	15人	16人	31人
第17回	金沢・オンライン	2022年8月8日～11日	16人	20人	36人
第18回	日本・福岡	2023年8月7日～12日	14人	20人	34人
延べ参加人数			279人	289人	568人

(3) 「日韓青少年 Trial & Error 交流会」開催実績

- ・主催・運営：日韓経済協会 青少年交流センター、  
日韓青少年 Online 交流会推進チーム
- ・使用ツール：ZOOM（オンライン会議）
- ・開催実績：

	日程	詳細日程（全員集合日）	日本側	韓国側	参加者
第1回	2020年9月4～19日	4日 OT・開会 13日 中間発表 19日 最終発表・閉会	6人	9人	15人
第2回	2020年10月17～31日	17日 OT・開会 24日 中間発表 31日 最終発表・閉会	13人	9人	22人
延べ参加人数			19人	18人	37人

(4) 「Visit & Feel JAPAN Tour」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主 催：日韓経済協会

- ・後 援：外務省、駐日本大韓民国大使館、SJC（ソウルジャパンクラブ）
- ・協力・協賛：三菱商事、アサヒビール、JTB、JKSFF・KJSFF
- ・開催実績：

	場所	日程（交流期間）	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・関東	2017年2月13～18日	交流会のみ 参加	20人	20人
第2回	日本・北海道・青森	2018年 1月30～2月4日	—	20人	20人
延べ参加人数				40人	40人

(5) 「日韓交流の広場」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主 催：JKSFF、KJSFF（日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織）
- ・後 援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程（交流期間）	日本側	韓国側	参加者
第1回	韓国・ソウル	2011年12月23～25日	73人	54人	127人
延べ参加人数			73人	54人	127人



## Ⅶ. 調査・広報活動

韓国関連の情報・資料を会員宛に提供  
～定期刊行物（日報・週報・月報）の発行～

### 1. 日報の配信

近年は韓国の新聞各社の記事が日本語版として広くネットで配信されるようになり、その種類も増加した。それらの中から最新の韓国情勢をリアルタイムに伝えるため、主として政治・外交・社会一般動向に関する情報を整理し選別した記事を日報ベースにて原則毎日メールで配信した。

（従前は韓国語新聞数紙から選んだ記事を協会にて翻訳し週報記事としていたが、昨今の情報伝達の迅速化に合わせ記事発表から近い時間内に協会が選択した動向情報を日報として配信することになっている。）

### 2. 週報『日韓経済協会通信』の配信

韓国の政治・経済動向・経済指標統計・社会一般文化に関する情報を複数の韓国語経済新聞や韓国政府機関HPから選別、それらの日本語版として編集されたものを各言論社のURLとともに週報としてメール配信した。週報では経済関連記事を主として取りあげ、原則毎週木曜日に会員宛に送信した。協会の客観的視点を基軸に韓国情勢をウオッチし週単位にて韓国の主要動向を情報として伝えた。

2023年度は、2023年4月6日付け第1535号から2024年3月28日付け第1580号までの46週分を発行した。

### 3. 月報『協会報』の発行

月刊の協会報の主な内容は次の通り。

#### [経済一般動向]

韓国の最新動向に沿った質量感のある関連記事を韓国で発刊される週刊の経済誌等から選択・翻訳・編集し情報として提供した。

#### [JKEレポート]

「最近の韓国情勢」と「最近の日韓企業間の動向」を1カ月単位で～報道日誌～として整理した。韓国メディア報道の中から選んだ日々の主要記事を整理して時系列的に掲載した。

#### [資料]

主要な各種の最新統計資料を韓国政府機関HP等から選択し翻訳したものを掲載した。

### 〔協会・財団〕

協会及び共に各種活動を協働している（一財）日韓産業技術協力財団の事業活動を要約日誌として報告した。協会の各種活動内容を紹介し報告した。

### 〔その他〕

主要ニュースインデックスとして政治・外交、経済、社会・文化、北朝鮮に類別した韓国報道の時系列目次で、各表題の記事は上記の〔JKEレポート〕に記載されている。

2023年度は、599号（2023年4月号）から608号（2023年3月号）まで月刊で計10冊を発行し、会員会社・関係団体等に郵送配布した。

また、当月25日発行分を当月号としていたものを2024年1月号からは前月25日発行次月初めに手元に到着するように郵送し、より最新の情報を発信できるようにした。

なお、協会報に掲載した〔経済一般動向〕の過去1年間の掲載記事一覧は別添の通り。

## Ⅷ. その他事業及び出来事等

### 1. 日韓交流おまつり 2023 in Tokyo (第15回)

- (1) 概要：佐々木会長が実行委員長を務めるなど、開催を支援している。  
2005年からのソウル開催に続き、2009年からは東京でも毎年おまつりを開催し今回は15回目。コロナ禍によりオンライン開催が続いたため、屋外に会場を設けての開催は久しぶり。また、従来使用していた日比谷公園が改修のため、新たに駒澤オリンピック公園を会場とした。今回はテーマを「共に描く未来」とし、ステージでは伝統芸能やK-POPなどが披露された。来場者数は5万6千人にも達した。
- (2) 日時：令和5年(2023年)9月30日(土)～10月1日(日)
- (3) 場所：駒沢オリンピック公園 中央広場(東京世田谷区)



(開会式)



(ニュース報道)

### 2. 韓日交流おまつり 2023 in Seoul (第19回)

- (1) 概要：日韓国交正常化40周年(「日韓友情年2005」)を記念して開始されて以来、両国最大規模の民間交流行事に成長し、19回目を迎えた。テーマは東京と共通の「共に描く未来 / 우리가 그리는 미래」佐々木会長も会場に駆けつけ、開会式では「おまつりが日韓両国民の友好と信頼を更に高める第一歩となる事を願う」と挨拶した。
- (2) 日時：令和5年(2023年)10月22日
- (3) 場所：ソウル特別市江南(カンナム)区COEXホール



(開会式)



(合唱を披露する日韓の子供たち)

### 3. 新春賀詞交歓会

- (1) 概 要：新たな年を迎えたことを祝い、協会会員企業のほか日本国政府、韓国大使館、関係機関などから 60 名を越える皆様にお越しいただいた。岡副会長のご発声により乾杯し、会話の弾む和やかな会となった。
- (2) 日 時：令和 6 年（2024 年）1 月 29 日
- (3) 場 所：東京都千代田区 三菱クラブ



### 4. 韓国政府・駐日韓国大使館

#### (1) 「2023 東京韓国商品展示商談会」「日韓未来産業協力フォーラム」

概 要：韓国貿易協会主催による、食品、美容・化粧品、医療・健康、電子・IT、生活雑貨といった商品を日本バイヤーに展示会が開催された。並行して開催された「韓日未来産業協力フォーラム」では登壇の機会をいただき、「地政学的なリスクが高まるなか、日韓連携によるメリット、シナジーはかつてないほど重要」と挨拶した。

日 時：令和 5 年（2023 年）5 月 10 日

場 所：東京国際フォーラム

#### (2) 第 12 回 日韓商工会議所首脳会議

概 要：日本商工会議所と大韓商工会議所の主催により、韓国・釜山で 6 年ぶりに開催され、当協会から 2 名が参加した。発言の機会を得た当協会 是永顧問は「両国首脳の実力に応える意味も含め、幅広い民間交流を展開して参りたい」と意見を述べた。

日 時：令和 5 年（2023 年）6 月 9 日

場 所：シグニエル釜山（韓国・釜山広域市）

#### (3) 韓国「国慶日」および「国軍の日」レセプション

概 要：韓国「国慶の日」及び「国軍の日」を祝って開催され、当協会も佐々木会長ほかにご招待をいただいた。尹徳敏（ユン・ドクミン）駐日韓国大使が「この 10 月が日韓パートナーシップから 25 年」と挨拶し、来賓の上川外務大臣が「本日のレセプションが未来の日韓関係を形作る礎となることを期待する」と応えられた。

日 時：令和 5 年（2023 年）10 月 3 日

場 所：ホテルニューオータニ

## IX. 会 員 異 動

### 1. 入会

- |                 |          |            |
|-----------------|----------|------------|
| (1) 正 会 員       |          | なし         |
| (2) 協力会員        |          |            |
| (会員名)           | (代表者)    | (入会年月日)    |
| 学校法人旭学園佐賀女子短期大学 | 理事長 内田信子 | 2023.05.01 |

### 2. 退会

- |           |            |
|-----------|------------|
| (1) 正会員   | (退会年月日)    |
| J X金属株式会社 | 2023年8月31日 |
| 日本生命相互会社  | 2024年3月31日 |
| (2) 協力会員  | なし         |

### 3. 2024年3月31日現在

正 会 員 数	59社
協 力 会 員 数	6社

以上

月刊誌『協会報』の主要標題一覧  
2023年4月（第599号）～2024年3月（第608号）

〔特 集〕		〔経済一般動向〕	
2024年1月	*2024年 年頭所感（佐々木幹夫）	2023年4月	*押し寄せる日本文化の波、「ノーザンにノー」
〔特別寄稿〕			(1) スラムダンクを読みながらハイボールを堪能
2023年11月	*日韓交流おまつり2023 in Seoul		(2) 「親日？反日？」韓国人の意識調査
〔JKレポーター〕			(3) J-カルチャーのパワーの源
2023年4月	*最近の韓国情勢～報道日誌～		*C J vs 味の素、「MSG韓日訴訟戦」の顛末
2024年3月			*ロッテ七星の善戦に焦る首位のハイト真露
〔活動日誌〕			*老いゆくソウル
2023年4月	*日韓経済協会・日韓産業技術協力財団の活動日誌		(1) 大韓民国は「ソウル共和国」？ 老いゆく首都
2024年3月			(2) 映画の中の「未来都市ソウル」は実現するか
〔経済人会議〕			(3) 住宅価格の高騰で進む「ソウル離れ」
2023年4月	*第55回日韓経済人会議（ご案内）	2023年5月	*2023年の経済5団体の現状
2023年4月	*第23回日韓新産業貿易会議の報告		(1) 全国経済人連合会
2023年5月	*第55回日韓経済人会議を開催		(2) 大韓商工会議所
2024年1月	*第56回日韓経済人会議のお知らせ		(3) 韓国経営者総協会
〔学生未来会議〕			(4) 韓国貿易協会
2023年8月	*日韓青少年交流キャンプ-Reboot2023 開催報告		(5) 中小企業中央会
2023年8月	*第18回日韓学生未来会議 開催報告		*4大グループの財務状況
〔財団事業〕			(1) 一人勝ちの現代自動車、内部留保378兆ウォンのサムスン
2023年7月	*2023年在韓日系企業CSR活動支援事業		(2) サムスンはR&Dも首位、LGは初の10兆ウォン突破
2023年9月	*2023年在韓日系企業CSR活動支援事業 フォローアップ研修修了式		2023年6月
2023年11月	*日韓産業技術フェア	*ポスコグループ、二次電池のバリューチェーン完成	
		*ハンファ傘下入りした大宇造船海洋	
		*ハンファエアロスペースが過去最高業績を更新	
		2023年7月	*韓国は輸入車の「テストベッド」
			*全経連が55年ぶりに名称変更へ
			*「摩天楼の森」に変貌する汝矣島
			*大韓航空、アジアナ買収の先行きに暗雲
			*新たに船出したハンファオーシャン
			*危機に瀕する金融業界
			(1) ネット銀行・地方銀行の延滞率が上昇
			(2) 都市銀行も油断禁物、9月のコロナ金融支援 終了が引き金になるか
			(3) 金利高の影響で貯蓄銀行・カード会社の 延滞率に赤信号
			2023年8月
		*「機会の地」ベトナム	
		*チョンセの逆襲	
		*不安漂う信用格付の定期評価	
		(1) 企業の信用格付に赤信号、今年は格下げが2倍に	
		(2) 半導体・ディスプレイの危機は依然継続	
		(3) 生き残りの岐路に立つ鉄鋼・石油化学	
		(4) 建設業界の信用危機、今年下半期に現実化か	

2023年9月 ・10月合併	<ul style="list-style-type: none"> <li>*10年間の低金利時代との決別</li> <li>*高金利時代の産業天気図</li> <li>*下半期の銀行業界見通し</li> <li>*四面楚歌の建設業界</li> <li>*K-バイオの運命</li> </ul>	2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 次世代「高度道路交通システム」市場で優位を争う通信3社</li> <li>④ サービスとしての自動運転、プラットフォーム企業に「強み」</li> <li>*サムスンとAI</li> <li>*金融投資所得税、廃止へ</li> <li>① 個人投資家離れの防止を目的に「金投税廃止」を公式表明</li> <li>② 金投税廃止による「コリアディスカウント」解消には疑問符</li> <li>*教育現場にも浸透する「企業家精神」</li> <li>*企業家精神の拡大に取り組む大学</li> </ul>
2023年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>*就任一周年を迎えた李在鎔サムスン会長</li> <li>〈1〉「危機にも動じず」人材・技術への投資を継続</li> <li>〈2〉東京宣言から40年・新経営宣言から30年</li> <li>李在鎔会長の「ニューサムスン」構想は如何に</li> <li>〈3〉サムスンの成長を牽引する李在鎔会長の秘密兵器</li> <li>*減速するEV市場</li> <li>〈1〉成長率は一桁に下落、ここまでの冷え込みは想定外</li> <li>〈2〉EV市場が鈍化、但し「未来は変わらない」</li> <li>*借金地獄に陥る20代、見えぬ打開策</li> <li>*韓国経済を揺るがす金利高</li> <li>〈1〉各企業の金利高への対応</li> <li>〈2〉不動産投資への影響</li> <li>〈3〉株式・債券投資への影響</li> <li>*再燃する「チョンセ難」</li> </ul>		
2024年1月 =2023年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>*2024年「大予測」</li> <li>① マクロ経済</li> <li>② 産業</li> <li>*中東に吹くK-旋風</li> <li>① 企業が参入、政府が後押しする「中東ブーム」</li> <li>② ネイバー、中東で「三煥神話」を再現</li> <li>③ 第2の中東建設ブーム」を起こすワンチーム・コリア</li> <li>*相次ぐ銀行の海外進出</li> <li>*借金で借金を返済する企業</li> <li>*産業別・職業別に見る「食い扶持」の対年収比</li> </ul>		
2024年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>*混沌の韓国経済</li> <li>① 建設・キャピタル、PF危機説の台頭で資金繰りが悪化</li> <li>② 景気 低迷と金利高で冷え込むM&amp;A</li> <li>*危機に瀕する鉄鋼業界</li> <li>① 市況低迷でコスト負担が増大</li> <li>② 過去最高業績の達成後に変化した労使関係</li> <li>*競争が激化する通信3社の新たな収益源「超巨大AI」</li> <li>*チャットGPT登場から1年</li> <li>*オンライン市場で事業領域を拡大するダイソー</li> </ul>		
2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自動運転時代の先決条件</li> <li>① 2,000兆ウォンの自動運転市場をリードするのは誰か</li> <li>② 損失が膨らむ現代自動車グループ、自動運転技術の現状</li> </ul>		

〔資料〕					
2023年4月	2023年2月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		2024年1月	2024年10月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	
	2023年2月の生産者物価指数（韓国銀行）			2023年10月の生産者物価指数（韓国銀行）	
	2023年3月の消費者物価動向（韓国統計庁）			2023年11月の消費者物価動向（韓国統計庁）	
	2023年3月の輸出入動向（産業通商資源部）			2023年11月の輸出入動向（産業通商資源部）	
	2023年3月末の外貨準備高（韓国銀行）			2023年11月末の外貨準備高（韓国銀行）	
	2023年3月の雇用統計（韓国統計庁）			2023年11月の雇用統計（韓国統計庁）	
2023年5月	2023年3月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		2024年2月	2024年11月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	
	2023年3月の生産者物価指数（韓国銀行）			2023年11月の生産者物価指数（韓国銀行）	
	2023年4月の消費者物価動向（韓国統計庁）			2023年12月及び年間の消費者物価動向（韓国統計庁）	
	2023年4月の輸出入動向（産業通商資源部）			2023年12月及び年間の輸出入動向（産業通商資源部）	
	2023年4月末の外貨準備高（韓国銀行）			2023年12月末の外貨準備高（韓国銀行）	
	2023年4月の雇用統計（韓国統計庁）			2023年12月及び年間の雇用統計（韓国統計庁）	
	2023年1～3月期実質国内総生産（速報）（韓国銀行）		2024年3月	2022年12月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	
2023年6月	2023年4月の国際収支（暫定）（韓国銀行）			2022年12月の生産者物価指数（韓国銀行）	
	2023年4月の生産者物価指数（韓国銀行）			2023年1月消費者物価動向（韓国統計庁）	
	2023年5月の消費者物価動向（韓国統計庁）			2023年1月の輸出入動向（産業通商資源部）	
	2023年5月の輸出入動向（産業通商資源部）			2023年1月末の外貨準備高（韓国銀行）	
	2023年5月末の外貨準備高（韓国銀行）			2023年1月の雇用統計（韓国統計庁）	
	2023年5月の雇用統計（韓国統計庁）		2022年10～12月期と年間の実質国内総生産（速報）		
2023年7月	2023年5月の国際収支（暫定）（韓国銀行）				
	2023年5月の生産者物価指数（韓国銀行）				
	2023年6月の消費者物価動向（韓国統計庁）				
	2023年6月の輸出入動向（産業通商資源部）				
	2023年6月末の外貨準備高（韓国銀行）				
	2023年6月の雇用統計（韓国統計庁）				
2023年8月	2023年6月の国際収支（暫定）（韓国銀行）				
	2023年6月の生産者物価指数（韓国銀行）				
	2023年7月の消費者物価動向（韓国統計庁）				
	2023年7月の輸出入動向（産業通商資源部）				
	2023年7月末の外貨準備高（韓国銀行）				
	2023年7月の雇用統計（韓国統計庁）				
	2023年4～6月期実質国内総生産（速報）				
2023年9月 10月 合併号	2023年7月と8月の国際収支（暫定）（韓国銀行）				
	2023年7月と8月の生産者物価指数（韓国銀行）				
	2023年8月と9月の消費者物価動向（韓国統計庁）				
	2023年8月と9月の輸出入動向（産業通商資源部）				
	2023年8月末と9月末の外貨準備高（韓国銀行）				
	2022年8月と9月の雇用統計（韓国統計庁）				
2023年11月	2023年9月の国際収支（暫定）（韓国銀行）				
	2023年9月の生産者物価指数（韓国銀行）				
	2023年10月の消費者物価動向（韓国統計庁）				
	2023年10月の輸出入動向（産業通商資源部）				
	2023年10月末の外貨準備高（韓国銀行）				
	2023年10月の雇用統計（韓国統計庁）				
	2023年7月～9月実質国内総生産（速報）				